

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。節分も過ぎ、春が待ち遠しい季節ですが、まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

般若心経の意味を学ぶ今年のかかわら版。生き方や社会のあり方を考える際の道標(みちしるべ)です。

「仏説摩訶般若波羅蜜多心経(ぶつせつまーかーはんぎょう)」で始まる「心経」。お遍路さんには空気のよう

「仏説」は仏様が説かれた教えという意味。お大師様は、般若心経の解説(般若心経秘鍵)の中で、「仏様の教えは遠くにあるものではない。ひとり一人の心の中にある。近すぎて見えない」という趣旨のことを記しています。

「摩訶」は大きいとか偉大な様子を表現。「般若」と聞く

意味は広く深い知恵のこと。「般若湯(はんにゃとう)」は、お坊さんたちがお酒のことをそう呼びます。禁酒のはずのお坊さんたちの遊び心でしょうか。粹ですね。

知恵と知識は違います。現代社会の混迷は、知識はあっても、知恵のない人が増えたせいかもしれませ

「波羅蜜多」は、こちらの岸(此岸、しがん)からあちらの岸(彼岸、ひがん)に渡ること。つまり、彼岸に渡って悟りの境地に達することです。

英語の「パラマウント」という単語。実は、サンスクリット後の「ハーラーミター」がヨーロッパに伝わって「パラマウント」になりました。意味は「最高」。それはそうですよ。悟りを開くことができれば、それは「最高」なことです。「心経」は、仏様の教えの一番大事な部分をまとめた

お経という意味です。お釈迦様の教えは「八万四千の法門」と言われるように、多岐にわたっています。お釈迦様は相手にあわせて、それぞれの個性に応じて教えを説きました。様々な内容で人々を諭したお釈迦様。その教えの要点が「心経」です。

「経」とは、もともと数は珠(じゆず)の玉をつなぐ糸のことだそうです。玉の数は百八つ。煩惱の数です。人々の煩惱を貫いて、教え諭すのが「経」。その真髓が「心経」ということになりました。

多くの人に親しまれる「心経」。わずか三百文字の短いお経の中に、お釈迦様の教え、人間関係や社会の問題を和らげる心のある方、生き方についての教えがたくさん詰まっています。それでは、また来月。ごきげんよう。合掌。



## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ14年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

### 弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

第1号から第78号は、2008年に大法輪閣から本になって出版されました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

